



賀茂高等学校  
同窓会 会誌 vol.3

平成23年12月26日発行

賀茂高等学校  
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22  
TEL (082) 423-2559

URL  
<http://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp/>



心のふるさと、

西条と賀茂高校

同窓会長 黒川 浩明

同窓生のみならず、毎日、お元気で御活躍のことと思います。

同窓会は、今年度は、来年度と2年間で新しい会員名簿を発行するとともに、会誌を全国の同窓生に届ける事業に取り組みます。会誌は、一昨年に第1号を発行しましたが、総会等での手配りに頼っているため、配布の範囲が限られます。そのため、ページを増やし内容を充実させるとともに、できるだけ多くの同窓生に読んでいただけるようにしたいと思います。これにより、現在の高校の状況をより広く知っていただくとともに、同窓生の絆がさらに深まればと切に願っています。

私が高校を卒業したのは昭和36年ですから、もう50年前になりましたが、私にとって、高校生活の3年間は、その後の人生を考えさせ、方向づけてくれた場であり、時間

でした。丁度、日本がこれから経済大国に発展しようとしていた頃で、何も知らないながら、とにかく外の世界に憧れたものでした。素晴らしい先生に出会い、多くの友人を得ましたし、また、1年と3年の時には親戚と学校の近くの民家に下宿し、2年では寮に入り、それぞれに多くの人にお世話になりました。忘れられない人たちがあり、時間です。西条のまちも高校の建物も、現在は大きく変わりましたが、賀茂高校の3年間は、私にとっては、ときどき帰る、懐かしい心のふるさとです。

そして最近、同窓会の仕事に関わらせていただくようになってからは、よく現在の高校に寄らせていただきます。学校は、清掃が行き届いていますし、生徒がよく挨拶をしてくれます。また、授業も参観させていただきましたが、先



生、生徒ともに、熱心で前向きです。クラブ活動も多くの成果をあげています。しかし、生徒たちには、これからの日本、広島を背負っていつてもらわなければなりません。難題がいっぱいで、容易なことではないでしょう。そのためにも、これまでの伝統は維持しつつも、これから自分たちの力で新しい未来を切り開き、賀茂高校をさらに大きく発展させていくことが必要です。

私も同窓生としては、現在の高校の活動に対し、必要な応援・支援を、今後とも積極的に続けていきたいと思えます。みなさまの一層の御協力をよろしくお願いいたします。

奮い立つところ

校長 隠澤 浩雄



同窓生の皆様には、平素から本校教育の発展・充実のためにご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本校に着任して2年目を迎える、多少余裕をもって校内外のことを見ることができるようになり、改めて百有余年の長きにわたって、有為の人材を輩出してきた本校の伝統の重みを再認識しています。

私は幕末の儒学者佐藤一斎の著書『言志四録』を座右の書として愛読し、先頃は「発憤」という言葉を生徒・保護者の皆様に紹介しました。「学ぶためには『発憤』が必要だ」と言う言葉で、「発憤」というのは、やる気よりもっと熱く、身がかき混ぜられるような、奮い立つような感覚のことを言っています。私は今を生きる生徒たちが、勉強や部活動をはじめとする学校生活の全ての営みの中でこの「発憤」感覚を経験することを期待しています。将来必ず訪れるであろう「踏ん張りどころ」で、自らを奮い立たせる力となる信じるからです。

賀茂高校は言うまでもなく卒業された同窓生のものであり、在校生のものであり、やがて入学して来る地域の子どもたちのものでありま

す。私は、同窓生の皆様に、これまで以上に皆さんの母校である賀茂高校を訪ねて来てもらいたいと思っています。文化祭・体育祭はもとより、普段の授業や部活動にも、放課後の教室にも、懐かしさとともに「発憤」する生徒のエネルギーを感じることができ、皆さんの心にも活力を与えてくれるものと確信しています。

今年の3月に東日本を襲った大震災は、私たちにいろいろなことを考えさせました。自然の力にあらがえない人間の無力さを知ると同時に、「和」「絆」「思いやり」といった、人として最も大切な心の強さも実感できたことと思います。正門を入ってすぐのところに、校訓である「信 敬 愛」を刻んだ石碑があります。ここに佇み、復興の道を歩み始めた日本にあつて、自分ができることが何であるかに思いを寄せることもまた、たいへん意義深いことではないかと考えます。

本校は、昨年度から県教育委員会の学力向上対策事業の一つであり、県内で15校だけが指定される「チャレンジハイスクール」の指定を受けることができました。生徒・教職員が進路実現にむけて共に精進し、努力を重ねた結果であり、これを「より高めて引き継いでいく」ことが、ここまで本校の伝統をつくりあげて来られた同窓生の皆様への最大の感謝であると自覚し、110年、さらにその先の120年へむけて、力強く邁進していきたいと考えております。皆様の変わらぬご支援をいただければ幸いです。

# 賀茂高校の思い出

## 卒業してから半世紀

前賀茂高校同窓会長  
昭和32年卒 菅川 健二



### 在校生時代

#### 受験勉強に励む

はじめに  
賀茂高校同窓会誌がさらに充実されるとお聞きし、大変喜ばしいことと思います。関係者のご尽力に心から敬意を表しますとともに、会誌が継続的に発行され、これを通じて同窓生の絆が一層深まることを期待します。

私が高校に入学したのは昭和二十九年（1954年）で、賀茂高校が西条高校から独立して二年目にあたり、新しい校章や校旗、校歌が制定された年でした。いわば賀茂高校としては草創期にあたり、先生方もベテランの先生に混じって、大學出たての新進気鋭の方も多く、新しい学校づくりに一致団結して当たられていたと思います。生徒たちもこれに応えて、学業に、クラブ活動に情熱を燃やしていました。特に進学志向も強く、同学年では広島大学に四十名前後合格し、県内でも四位の実績を出しました。この記録は現在でも破られていないのではないのでしょうか。私も東京の大学を目指し、受験勉強に励みましたが、その中でも、前身が女学校だっただけに、女生徒が多く、運動会や遠足、修学旅行など華やいだ雰囲気の中で楽しい思い出の数々を残すことができました。今でもお互いにかなりくたびれておりますが、グループでの会合や小旅行を楽しんでおります。

### 県教育長時代

#### 進学校としての充実を

大學は法学部に進学して、教育



者一筋の父親とは全く違った畑に就職したつもりでおりましたが、因果とは不思議なもので教育行政に三度携わることになりました（広島県教育委員会総務課長、兵庫県教育次長、広島県教育長）。平成元年から五年まで広島県の教育長を勤めることとなりましたが、教育の混乱期にあつて、特色ある高校づくりを大きな柱として掲げました。その際、県立学校は百校余りあり、特定の学校だけひいきするのは極力避けたくもりましたが、やはり気になるのは母校のことでした。賀茂台地の中心校としての発展を願ひ、新進気鋭の校長の配置や先進的なセミナーハウスの建設に努めたつもりです。

### 選挙に出馬

#### 熱心な応援に感謝

広島県庁勤めも長くなり、次への転進先を模索していたところ、県知事選、続いて参議院議員選のお誘いを受けました。いずれの選挙も十分な準備体制もなく、苦戦を強いられました。幸い地元、広島ではいずれもトップの得票をいただくことができ、参議院議員選では当選し、六年間国政の一端を担わせていただきました。これも手弁当で利害を超越して応援していただいた高校の同級生、先輩、

後輩のおかげと改めて心から感謝を申し上げたいと思います。

### 同窓会長時代

#### 百周年記念事業を実施

平成九年（1997年）坂田正二会長の後任として、同窓会長を引き受けることとなりました。当時参議院議員でしたので、十分な時間が割けませんでした。竹井清元会長はじめ、地元の多くの同窓生のご支援をいただき、どうか職務を全うすることができました。会長時代の最大の仕事は平成十八年（2006年）に賀茂高校が創立百周年を迎えるにあたり、記念事業の実行委員長として、それをいかに成功裏に実行するかということでした。特に同窓会の役割としては、百年を契機として高校教育充実のために、何をプレゼントし、そのために要する資金をどのように集めるかということでした。経済不況の中でしたが、一応目標額を三千万円と定め、各方面にお願いした結果、目標額を三百万円上回る額が集まり、学校に憩いの広場、緞帳、ピアノを贈ることができました。改めて同窓生の母校を愛する心の強さを感じたところです。無事記念事業が終わった翌年、私は丁度十年を区切りとして、会長を現会長黒川浩明氏にバトンタッチしました。

### よき出逢いを

今振り返ると、賀茂高校、そし

て同窓生との出逢いが私の人生に大きく影響しており、それが幸せであり、誇りでもあります。野田総理の「どじょう」にあやかるとはありませんが、私もかねてから相田みつを氏の詩が好きであり、時に東京丸の内の「相田みつを美術館」を訪れております。その中でも最も好きな詩をご紹介します。駄文を閉じさせていただきます。

「そのときの出逢いが 人生を根底から 変えることがある よき出逢いを みつを」

### 憧れのセーラー服

賀茂高女時代

昭和16年卒 山部 光子



憧れのセーラー服に袖を通した時の高揚した晴れがましかった気分は七十四年経った今も記憶に新鮮です。二級上の姉と一緒に通学出来ると思うとワクワクしたものでした。通学は汽車通学、自転車通学は当時は高価で少なかったと思います。私は本町でしたので徒歩で十五分、緑の田圃の中の木造の校舎に通学しました。なかには七、八キロも歩いての登校の友もありました。雨の日も風の日も、

学校に着けばおしゃべり好きな乙女達でした。とは云え学校では勤労奉仕の時間が有り、農繁期には出征兵士宅、戦死者宅に田植、稲刈に行き、馴れない作業に精を出したものです。食糧難になつていたので、休憩時に戴くおはぎとか、バラ寿司が楽しみでした。上級生は土木作業にも出向きました。体育の時間には長刀が取り入れられ戸惑つたものです。

そして憧れのセーラー服も、スカートはモンペに変わっていきました。男子校も、中学野球大会は昭和十八年に、プロ野球も昭和十九年は開幕されませんでした。只一つ熱を帯びたのは相撲でしたが、徴兵で戦地へと男子校では軍から士官が送り込まれ教練と云う軍事訓練が体育では多くなりました。

町中の壁、電柱、掲示板には戦時標語がやたらと目に付きました。進め一億火の玉だ!! 一億一心!! 贅沢は敵だ!! 撃ちて止まむ!! 懲しがりません勝つまでは!! 生めよ、殖やせよ!!

最後には「一億玉碎」。こんな怖ろしい標語が堂々とまかり通り、それを不思議に思わない時代でした。改めて教育がいかに大切で国を支える力になるものなのか、と切実に思います。私達の学年は五〇名の二クラス、全校で四〇〇名余だつたと思います。戦況が厳しくなるにつれて女子は「女子挺身隊」として勤労奉仕、



筆者は後列左



いと思います。

そして上級生は広の海軍工廠へ動員され工場で男子同様の作業をこなし日の丸鉢巻で夢中で勤めました。

賀茂高女の先輩達は本当に悲惨な年代だつたと思います。「かもあおい」二号での高橋繁子さんが書かれている通りで改めて賀茂高校の歴史の中の過程を知つていただきたいと思っています。

毎年顔を合わせて旧交を温めていた会も年々顔が少なくなつたり、淋しくは思いますが、賀茂高校の足跡の中での四年間は現在も大切に思っています。姉妹弟、徒兄弟、甥姪は数えて九名が賀茂高校で学び本当に大切な母校です。今後共に地元に着した、東広島から全国へ発信、活躍する賀茂高校として発展するよう、同窓生の一人として小さくても熱いエールを送りたいと思います。

## 恩師は今…恩師の先生を訪ねて

### 伊藤元子先生を訪問して

昭和37年卒 狩谷 文字

さわやかな秋晴れの朝、私たち同級生、二宮君、野村さん、私の三人は八本松町にお住いの恩師、伊藤元子（現在は松川）先生を訪ねた。先生は昭和三十二年から四十三年まで賀茂高校にご在職であつたが、私たちがとつては卒業以来のご無沙汰でちょうど五十年ぶり。ご記憶ではないだろうと心配したが、さいわいに先生が顧問の体操部員だつた野村さんと一緒だつたのですぐに思い出され、話に花が咲いた。

五十年ぶりにお会いした先生は歯切れの良さもお顔の表情も七十五歳とは思はず、同級生という感じだつた。姿勢の良さとかくほの優しい笑顔は昔と変わらなかつた。私たちの学生時代当時の印象については、ご自身も賀茂高校の同窓生のためか、落ち着いた真面目な良い生徒たちばかりで、校風もとても良かったと賞賛してくださつた。

賀茂高校を退職後は良き家庭人として東京や広島で過ごされ、故郷の八本松町に帰られた今はご主人と二人暮らし。趣味と実益を兼ねたレザークラフトの指導やガーデニングなど充実した日々を楽しまれている。たくさんの方のレザークラフト作品

月、最初の赴任校に到着しました。当時、西条駅の近くには小さな映画館や銭湯がありました。

が並ぶアトリエも見せていただいた。手作りのおいしいシフォンケーキをごちそうになり、おまけに作品までお土産に持たせてもらった。久しぶりに里帰り気分を味わい、恩師から再び人生の道しるべをいただいた小春日和の一日に感謝。



レザークラフトのアトリエにて 中央が伊藤元子先生

——三宅康生先生は、昭和53年4月から平成元年3月まで賀茂高校に在職。現在、庄原格致高校校長として活躍中。

賀茂高校の教員時代をふりかえり、先生に御執筆いただきました。

### 賀茂高校回想

三宅 康生



西条駅を降り、田んぼや畑の間を歩いて、昭和五十二年四

文化祭のフィナーレは、全校生徒で四つの円をつくりフォークダンスをしていました。生徒たちの制服は、男子は詰襟学生服、女子は上着は黒のボックス、スカートも黒のスカートでした。賀茂高校の八十周年を機に、男女ともスーツスタイルに変わりました。この八十周年記念行事では、全校生徒でヘンデル作曲「ハレルヤ」を四部合唱し、式典を盛大に行うことができました。この間十二年、生徒たちの教育活動や先輩の教職員の先生方から学ばせていただいたことを私の教育活動の宝として、賀茂高校から以降の教育活動に今も関わらせていただいています。最後に、合唱部の卒業生の皆さん、十年連続担任をさせていただいた卒業生の皆さん、いつまでもお元気で活躍ください。

賀茂高校の記念碑を訪ねて

校是「信敬愛」の碑

その経過と所感



昭和31年卒 近藤 五十憲

広島県立賀茂高等学校の正門を入ると目の前に、校是である「信敬愛」の三文字を記した大きな石碑がある。これは、賀茂高校創立八〇周年記念行事の一環として建立された。

一九八六年（昭和六一年）九月二〇日のことである。当時の賀茂高校同窓会長土肥浩右さんが周年記念事業の実行委員長を務められ、並々ならぬ熱意の元に、後輩達に生涯にわたる心の糧になるものとして建立を思い立ち、碑の石材



選びにも自ら足を運ばれた。

校是である「信敬愛」は、本校の教育の基本方針を示すものであり、特に人としてのあり方を示すものである。他校に見られる質実剛健、勤勉努力などの実利的な校訓よりも極めて奥深いものである。戦後の学制改革で職業科とともに普通科をおく総合制高校として再編された西条高校が、戦後復興

に産業教育が見直される中で、農業科を分離独立されることになった。西条高校は、四年の歴史を閉じ、農業課程を中身とする西条農業高校と、普通科と家庭科の賀茂高校に分かれることになった。

一九五三年（昭和二八年）の四月から新生賀茂高校が発足する。主として、旧賀茂高等女学校の校舎を利用する。足りない教室は、しばらく一部西条中学校や、西条農業高校を利用してもらうという状況であった。

賀茂高校の初代校長広安文一は、新たな学校が地域に愛されることが絶対的な条件であると考えられて、深い教育理念を熟慮され、論語にその元を見ることのできる、「敬、愛、信」を教育の基本方針とすることになった。その上で地元市町村の物心両面の新生賀茂高校に対する協力をお願いすることになったようである。

当時の職員会議資料の「昭和二八年度教育計画」の一部に、次のように書かれている。地域社会との連携を密にする(1)愛せられる学校(2)尊敬される学校(3)信頼される学校となることを、モットーとする。私は、新生賀茂高校の出版の年に入学した。校長は、朝礼などこ

とある毎に、己を愛する如く、他を愛せ。己を敬う如く、他を敬え。己を信じる如く、他を信じよ。と話されていた。

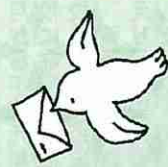
このように見てくると、信、敬、愛の語順は、一定していない。ちよつと調べてみると「敬愛信」や「愛敬信」を校訓や社訓にしている学校や企業はかなり沢山ある。

私が、一年生の時には、校章も校歌もできていなかった。二年生になった一九五四年（昭和二十九）四月に校章ができ、一〇月によくやく校歌ができ上がった。歌詞は、水の流れに従って、一番に白鳥山―信にやすらひ、一番に深山の杜―敬を誓いて、三番に瀬戸内海―愛の啓示に、と綴られている。この校歌制定以来、「信、敬、愛」の語順で言われるようになった。

碑文の「信敬愛」の文字は、新生賀茂高校スタート時から、国語および書道を担当されていた塚田康信先生によるものである。塚田先生は、西条高校の一年を含め本校に十三年間勤められ、その後

芸術科（書道）教授として、福岡教育大学に招かれ、ご活躍になった。校是の碑建立当時は、広島文教大学教授として多忙にもかかわらず、快くご揮毫いただいた。当時母校に在職中であつた藤川頼信

先輩と二人で、西条町田口の自宅に二度ほどお伺いしたが、逆に、ご苦勞様と、記念の色紙までいただき、私にとっては、生涯忘れることのできない出来事となった。



活躍する同窓生たち

月の光の中に

昭和37年卒 児玉 伸子



秋の夜長です。望月、十六夜、立待ち月、居待ち月とたった一つの月なのに時間や季節が違ふと表情が違ってきます。また、見る場所や心模様でも感じ方は異なりま

す。それは私個人についての見方や接し方も同じなのでしょう。進むべき方向を見失いがちの私を、賀茂高校時代の友人達は享受し続けてくれています。半世紀前人生設計を迫られる中、絵画で自己表現をしようといふ今日に至っています。

市民レベルでの芸術交流ではありませんが、海外で芸術家との展覧会に出品する際は、北京、ソウル、上海、ハノーバーへと行動を共にしてくれた人もいます。現代美術のあり方を理解し、制作の意図を汲んで会場での手助け、現地の人達への対応、作品説明また、終了後作品の撤収など快く一緒に活動してもらったりもしています。昨

を感じながら絵を通して生きる喜びを分かち合っています。

なかでも心に悩みを抱えている人に、色彩の力で豊かに感じる心を…。社会の中で充分な愛を貰えず、人の道から逸れてしまった少年達に心の広がり…。と共に寄り添える場を与えられています。

満月の美しい光を仰ぎ見ながらこの時間を大切にしていきたいと思いました。

(二〇二一、九月記)

店はお客のためにある

昭和40年卒 蔵田 憲



私共の会社は、戦後、生活に必要な物資が乏しかった時期に、祖父が「生活に必要な品々を全国から取り寄せ安く提供し喜んでもらう」との理念で、卸問屋として昭和25年1月に西条本町で借店舗から出発しました。

醤油、酢、砂糖、お菓子、生うどん、雑貨類をトラックで賀茂郡内の商店に卸して廻っていました。昭和30年、お客様の要望で小売りを始め「よい品安く」で評判

を頂き、2号店を昭和37年に西条中央通りにオープンさせたのがスーパーマーケットのスタート。

初代は「凡そ商人は、注意、周到、忍耐、勤勉に努力実行する能力と体力を養ふべし」の社訓を掲げ、アメリカに視察に行くなど、行動力と先見の明で礎を作りました。

2代目の父は、東広島市内全域への積極的な出店を行い、スーパーチェーンとしての方向へと基盤を固め、経営理念も「愛と健康増進と生活文化の向上に奉仕する」を掲げ、時代に対応した会社作りをしました。

父の病气により、社長に就任した私は、「店はお客のために、本部は店のために、会社は従業員のために」の信条のもと、信頼される店づくりに向けて基本の徹底と売場の改善、拡大を毎年のごとく行い、厳しい環境を全員で乗り越えていくべく取り組んでおります。

賀茂高の校訓であります「信・敬・愛」、信があつて敬がある、敬があつて愛が生まれる心の大切さを学んだことを誇りに思います。同窓会の皆様のご健勝と母校の発展を心よりお祈り申し上げます。(西條商事株式会社 代表取締役)



アナウンサー生活25年目

昭和59年卒 川崎 聡



出張で乗る新幹線。東広島駅が近づくと思わず目を凝らし、家々の独特の屋根の色、線路沿いの看板の懐かしい文字、そしてどこか優しい山陽路の空の色…。

仮眠からめざましたばかりの意識は、いつしか高校時代の思い出の中へ。車窓から見る景色は少しずつ田んぼが少なくなっているような気がします。

アナウンサー生活25年目。「プロ野球日本シリーズ」「柔道世界選手権」などでマイクrohonに向かう機会にも恵まれました。今でもマイクに向かう前に欠かせないのが、発声練習。さぼると同業者にはすぐにはばれます。校内放送のマイクrohonに向かつていたあの頃、毎日の発声練習は、体育館の裏の田んぼに向かつて「アエイウエオアオ、カケキクケココ……」。そう云えば、田んぼの向こう側の畦に立つ先輩から「聞こえないぞ」と大声で返されたことも。

新人アナウンサーの発声指導の最中、ふとつかしい母校の風景が目に見えかけました。

(株)テレビ西日本編成制作局 アナウンサー担当部長

私の夢を培った高校時代

平成16年卒 海田 智行



野球との出会いは小学校3年生の時ですが、中学校2年時に投手のポジションを得、以来、投手一筋の道を歩んできました。高校進学では、他校からの誘いもありましたが、「文武両道」の賀茂高校を選びました。御建グラウンドまで自転車を通い、草叢に飛び込んだボールを探しながら、日没で球が見えなくなるまで練習をしました。監督の熱い指導のもと、志を高く、常に課題を持ち、上を目指す部活でした。2年生時には、創部以来初の中国大会に出場でき、20世紀杯の候補校として、甲子園出場の朗報を胸躍らせながら部員と一緒に待ったこと、またそれをバネに甲子園を目指し、一層の汗を流したことを思い出しま

す。さらに、夏の大会では、県代表になった広陵高校に準々決勝で4対5で敗れましたが、その時の悔し涙は、自分の信条である、強者、上位チームへの挑戦の志に火をつけ、それが自分自身の柱となりました。その敗戦以来、涙したことはありません。

大学では、1年生の秋季リーグ戦で2勝、2年生では、春季に5勝、そして第36回日米大学野球選手権大会で、大学選抜の一員として、現日ハムの斎藤佑樹君とともにアウエーで優勝し、左腕の中継投手としての役目を果たし、評価を受けました。2年秋季から3年春季まで体調不良に陥り、試練の時期もありましたが、4年生では副主将の役を受けました。野球は、チームが心を一つにして戦うもの、目標に対して個々が役目を果たすもの、より上を求めて己の課題に取り組むもの、そして個々が組織として成果を出すものであることを改めて学んだ大学時代でした。

今は、日本生命で伝統ある野球部の一員としてプレーできることを幸せに思っています。今後も自分の志を忘れることなく、より高いものを目指して進化していきたいと思っています。(海田智行さん、平成23年10月27日のプロ野球ドラフト会議でオリックスから4位指名を受け、契約を終了し、無事入団の運びとなっています。―会誌編集部―)



賀茂37卒クラス会 H23/04/07 さぎしまにて  
みんなの笑顔がうれしいね。

## 昭和37年卒業クラス会

平成23年4月7日(木) 三原市の佐木島において、昭和37年卒6・7組のクラス会を行いました。

当日は天気にも恵まれ、桜も見ごろでした。2年前にも開催し、今回は2年後と約束しました。

## 昭和37年卒業同期会

平成23年8月7日の15時から、グランラッセ東広島ヴィーナスの間で昭和37年卒業の同期会を開催しました。同日に開催された同窓会総会、懇親会の後でしたので食事はあまり進みませんでしたが、友達同士の話は大変盛り上がっていました。なんとといっても半世紀ぶりに行なったフォークダンスは最高でした。



## 賀茂高等女学校同窓会

平成23年10月21日(金) ホテルグランヴィア広島で賀茂高等女学校同窓会を行いました。

私たちは戦時中を賀茂高女に愛着と誇りを持って過ごした学年です。平成元年より毎年10月21日を「賀茂高女同窓会の日」と決め、集っています。以前は300人近く集まったりしましたが、今回は25名の参加でした。昔を懐かしみ、母校の発展を喜び、祈っています。

## 昭和40年卒同期会

平成23年10月30日、グランラッセ東広島において、遠くは関東、関西から男女40名ずつ、計80名が出席して卒業後8回目の同期会を開催しました。

校歌の合唱から始まり、実行委員長による賀茂高校の活躍状況や校是「信・敬・愛」の話を感銘しながら話が花が咲き、締めくくりになんとフォークダンスを踊りました。高校時代にタイムスリップして、65才ならではのフォークダンスを楽しみました。

昭和40年卒業生は、同期会や「戌亥会」と銘打っての年4回のゴルフコンペ等、定期的集い、益々つながりを深めています。

次回3年後の開催を満場一致で決定して、幕を閉じました。



同期会・クラス会・支部会だより

同窓会ホームページから



## 同期会・支部会等の 支援金について



賀茂高校同窓生の同期会や支部会等を開催する時は、事務局から支援金として1万円を交付します。昨年度は7件の申請がありました。これから同期会・支部会・同窓生職場会等予定されている場合は事務局にお問い合わせください。

# 学校の近況報告



## クラブ活動を訪ねて

### 書道部

書道部の活動内容は幅広く、パフォーマンスとしての大書揮毫をすることもあれば、一枚書き上げるのに5〜6時間かかるような大作に取り組むこともあります。



書道部の活動内容は幅広く、パフォーマンスとしての大書揮毫をすることもあれば、一枚書き上げるのに5〜6時間かかるような大作に取り組むこともあります。

活動が賀茂高校の誇りとなるよう、励んでいきたいと思えます。



### 女子ハンドボール部

女子ハンドボール部は『二年連続インターハイ出場』を達成することができました。

高校に入学してからハンドボールを始めた部員が殆どです。それでも全員が『全国』を目指して頑張ろうと決意しました。

3年生になってから、県内の試合では勝ち続けました。しかし、『二年連続インターハイ出場』を確実に

のようになっています。今後、顧問の先生方と部員一同が一丸となって、書道部の



には、防御をより強靱なものにすることが大きな課題となりました。防御の練習では、多くの戸惑いや不安で練習中に涙を流すこともありましたが、しかし、全員が目標を見失うことなく頑張り続け、厳しい練習を乗り越えることができました。

インターハイという大きな舞台で最高の仲間と最後の最後まで戦えたことは、一生の糧となり、本当に幸せに思います。

熱心に指導して頂いた顧問の先生、惜しみなく応援・支援をしてくださった保護者や、多くの方々に心から感謝しています。

賀茂高校ハンドボール部では、『諦めない心』『努力することの大切さ』を学び、精神的に大きく成長することができました。

### 女子卓球部

女子卓球部の今年度部員数は10人です。

卓球は技術面も重要ですが、それ以上に精神力が勝敗に大きく関わってきます。インターハイ出場をかけた広島県大会のダブルスの試合においても、ペアを信頼し、最高の精神力を発揮できたからこそ、勝つことができました。その結果、ダブルスとシングルの2種目(個人戦)で、2名がインターハイへの出場権を獲得しました。8月に青森県で開かれたこの大会では、会場の雰囲気にも圧倒されましたが、気力を奮って最後まで戦い、全力を出し切りました。

この経験を部員全員で共有し、これまで以上に練習や試合を積み重ね、全国でも通用する実力をつけていくことが私たちの目標です。



この経験を部員全員で共有し、これまで以上に練習や試合を積み重ね、全国でも通用する実力をつけていくことが私たちの目標です。



## 広島県高等学校総合体育大会への出場

種目	平成23年度			平成22年度			平成21年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
陸上競技	15	10	25	4	8	12	3	11	14
競泳	1	2	3	3	1	4	2	0	2
新体操	8	8	16	8	8	16	8	8	16
登山	3	0	3	1	1	2	1	3	4
バスケットボール	15	0	15	0	15	15	0	0	0
ハンドボール	14	12	26	15	15	30	15	15	30
バレーボール	14	14	28	14	14	28	14	14	28
ソフトテニス	16	10	26	16	8	24	18	10	28
卓球	8	6	14	8	6	14	8	8	16
ソフトボール	3	22	22	3	22	22	3	15	15
柔道	3	1	4	4	0	4	4	0	4
剣道	9	2	11	7	2	9	2	2	4
アーチェリー	2	1	3	1	0	1	1	0	1
総計	100	88	188	100	100	200	73	87	160

## クラブ活動報告

### 中国高等学校選手権大会への出場

平成23年度	平成22年度	平成21年度
女子ハンドボール	男子ハンドボール	女子ハンドボール
新体操	女子ハンドボール	新体操
女子卓球	新体操	卓球
水泳	陸上	ソフトテニス
	水泳	陸上

### 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)への出場

平成23年度	平成22年度	平成21年度
女子ハンドボール	女子ハンドボール	
女子卓球	水泳	
	レスリング	

## クラブ活動



進路実績

過去3年間の進路実績(平成20年度～22年度卒業生)

Table with columns for university type (National, Public, Private) and graduation year (20, 21, 22), listing various universities and their respective numbers of graduates.

- 短期大学: 島根県立大学短期大学部, 福山市立女子短期大学, 倉敷市立短期大学, 比治山大学短期大学部, 安田女子短期大学, 川崎医療短期大学, 広島国際学院大学自動車短期大学部, その他
専門学校(県内): 呉医療センター附属看護学校, 呉共済看護学校, 広島市立看護専門学校, 岡山労災看護専門学校, 広島理美容専門学校, 広島情報専門学校, 広島歯科技術専門学校, 広島歯科衛生士専門学校, その他
就職: 公務員(広島県警察), 公務員(東広島市消防), 陸上自衛隊, その他

同窓会事務局より



第58回総会・懇親会の報告

平成23年8月7日(日) 11時より第58回同窓会総会・懇親会が164名の出席のもと、グランラセーレ東広島において盛大に行われました。総会後は東広島市内のコーラスグループ「コールそよかぜ」によるコンサートがあり、その後の懇親会では、食事をしながら同窓生との会話を楽しまました。また平成12年卒が中心になってクイズを実施し、盛り上がりました。最後は校歌を歌って昔を懐かしみました。今回、東日本大震災への募金箱を設置し、集まった17,721円は中国新聞社会事業団を通じ、寄付し

ました。来年度は平成24年8月5日(日)の予定です。次回の当番回期は昭和38年・48年・58年・平成3年・13年卒です。たくさんの方の参加をお待ちしております。

平成23年度新事業

同窓会総会で承認をいただきましたが、つぎの2事業に新しく取り組みます。
① 会員調査、名簿販売、賛助金、会誌発行協力金等をお願いをさせていただきますが、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

- ◎同窓会名簿は、5年毎に発行してきており、平成23・24年度で、つぎのとおり、新しい名簿の発行事業を実施します。
① 事業費は1,000万円、当費用には名簿販売収入、広告掲載収入及び賛助金収入を充てる。
② 名簿発行は平成25年1月とする。
③ 発行業務は株式会社サラトに委託する。
④ 卒業時の同窓会名簿の配布は廃止する。

◎同窓会誌は、一昨年から発行していますが、つぎのとおり、増ページするとともに、全会員に発送・配布します。
① ページ数を4ページから8ページにする。
② 会誌発行協力金を会員にお願いし、その収入で事業を実施する。
③ 会誌の印刷、発送等の業務は株式会社サラトに委託する。

編集後記

会誌もようやく第3号となりました。今号からページ数を増やしたこともあり、多くの方に急な原稿の執筆をお願いしましたが、快くお引き受けいただきました。心から感謝いたします。今後とも皆様の積極的な情報の提供をお願いいたします。また、今回から全国の同窓生にこの会誌をお送りできることを大変に嬉しく思っています。はじめてこれを受け取られて、何だこれと思われる方がおられるかもしれませんが、この新しい試みを、是非とも皆さんに喜んでいただき、定着すればと願っています。

会誌の発行については、新会員名簿の発行とあわせ、同窓会副会長を含む12名の方をお願いし、委員会を設置して、検討を進めていただいています。ご協力につき、お礼を申し上げます。